

# 2019年度 第3四半期 決算説明資料



2020年02月10日

**M MITSUI E&S**

三井E&Sホールディングス

## 2019年度 第3四半期 決算概要

◆ 受注高	5,719 億円	(前年同期比 ↑ )
◆ 売上高	5,477 億円	(前年同期比 ↑ )
◆ 経常利益	▲697 億円	(前年同期比 ↓ )

## 2019年度 見通し

◆ 受注高	10,000 億円	(前回発表見通し比 → )
◆ 売上高	7,900 億円	(前回発表見通し比 → )
◆ 経常利益	▲670 億円	(前回発表見通し比 → )

## トピックス

- ◆ インドネシア石炭火力発電所土木建築工事の状況
    - ✓ CW管の設置工事は、順調に推移
- ※CW管 (Cooling Water管【取放水管】)
- ◆ 事業再生計画の状況
    - ✓ 昭和飛行機工業のTOBに係る応募契約を締結

(単位：億円)

	18年度3Q	19年度3Q	増減
受注高	3,743	5,719	+1,976
売上高	4,794	5,477	+683
営業利益	▲271	▲724	▲453
(営業利益率)	(▲5.6%)	(▲13.2%)	—
経常利益	▲220	▲697	▲477
(経常利益率)	(▲4.5%)	(▲12.7%)	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲473	▲700	▲227

<期中平均為替レート>

USDドル	113.00円/US\$	108.23円/US\$
-------	--------------	--------------

(単位：億円)

	受注高			売上高		
	18年度 3Q	19年度 3Q	増減	18年度 3Q	19年度 3Q	増減
船舶	832	386	▲446	695	856	+161
海洋 開発	660	3,423	+2,763	1,671	2,196	+525
機械	1,226	1,175	▲51	1,358	1,440	+82
エンジニア リング	497	323	▲174	498	447	▲51
その他	528	412	▲116	571	538	▲33
合計	3,743	5,719	+1,976	4,794	5,477	+683

# 2019年度 第3四半期 セグメント別決算概要

(単位：億円)

	営業利益			経常利益		
	18年度 3Q	19年度 3Q	増減	18年度 3Q	19年度 3Q	増減
船舶	▲66	▲19	+47	▲68	▲19	+49
海洋 開発	119	▲89	▲208	176	▲42	▲218
機械	75	90	+15	80	95	+15
エンジニア リング	▲408	▲733	▲325	▲410	▲733	▲323
その他	10	28	+18	2	3	+1
合計	▲271	▲724	▲453	▲220	▲697	▲477

## ■ 海外大型石炭火力発電所土木建築工事の状況

プロジェクト	地域	工事進捗率		契約納期
		19年度 2Q	19年度 3Q	
A	ベトナム	約98%	約99%	2019年度
B	インドネシア	約73%	約77%	2020年度
C	インドネシア	約88%	約91%	2021年度

- A 工事は既にコミッショニングの段階に入っており、2019年度下期に完成予定
- B CW管の設置工事は、順調に推移  
(引当金の推移 192Q 1,012億円⇒193Q 947億円)
- C 工事は予定通りに進捗

## ■ 売却する株式

- 当社グループ保有65.53%の全株式を売却し、連結子会社から外れる予定

保有区分	TOB実施前	TOB実施後
直接保有分	49.80%	0%
信託拠出分	15.73%	0%

## ■ 一株あたりの評価額

- TOBおよび特別配当金と合わせて、2,760円

保有区分	株式数	回収予定額	参考
直接保有分	16,241,793株	約448億円	事業再生計画の一環
信託拠出分	5,131,000株	約142億円	従業員の為の退職給付信託財産

## ■ 当社のメリット

- 資金確保と単体自己資本の回復

(単位：億円)

	前回見通し (2019/11/11)	今回見通し (2020/02/10)	増減
受注高	10,000	10,000	—
売上高	7,900	7,900	—
営業利益	▲720	▲710	+10
経常利益	▲670	▲670	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲880	▲950	▲70

※ 前提為替レート US\$ = 110円

※ US\$ 1円の円高が営業利益に与える影響⇒約8億円の改善

# 2019年度 セグメント別業績通期見通し

(単位：億円)

	受注高			売上高		
	前回見通し (2019/11/11)	今回見通し (2020/02/10)	増減	前回見通し (2019/11/11)	今回見通し (2020/02/10)	増減
船舶	1,000	900	▲100	1,200	1,200	—
海洋 開発	6,000	6,300	+300	3,200	3,300	+100
機械	2,000	2,000	—	2,000	2,000	—
エンジニア リング	500	400	▲100	700	700	—
その他	500	400	▲100	800	700	▲100
合計	10,000	10,000	—	7,900	7,900	—

# 2019年度 セグメント別業績通期見通し

(単位：億円)

	営業利益			経常利益		
	前回見通し (2019/11/11)	今回見通し (2020/02/10)	増減	前回見通し (2019/11/11)	今回見通し (2020/02/10)	増減
船舶	▲20	▲20	－	▲20	▲20	－
海洋 開発	▲60	▲50	+10	10	10	－
機械	90	90	－	90	90	－
エンジニア リング	▲750	▲750	－	▲750	▲750	－
その他	20	20	－	0	0	－
合計	▲720	▲710	+10	▲670	▲670	－

(単位：億円)

	18年度3Q	19年度3Q	増減	
売上高	4,794	5,477	+683	
<b>売上総利益</b>	<b>120</b>	<b>▲350</b>	<b>▲470</b>	石炭火力発電所土木建築工事の採算悪化
販売費及び一般管理費	391	373	▲18	
<b>営業利益</b>	<b>▲271</b>	<b>▲724</b>	<b>▲453</b>	
営業外収益	101	80	▲21	
営業外費用	50	54	+4	
<b>経常利益</b>	<b>▲220</b>	<b>▲697</b>	<b>▲477</b>	
特別利益	10	15	+5	
特別損失	17	17	0	
<b>税金等調整前 四半期純利益</b>	<b>▲227</b>	<b>▲699</b>	<b>▲472</b>	
法人税等	199	26	▲173	183Qは繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額が増加
非支配株主利益	47	▲25	▲72	主にMODEC少数株主持分
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>▲473</b>	<b>▲700</b>	<b>▲227</b>	石炭火力発電所土木建築工事の採算悪化

(単位：億円)

	18年度	19年度 3Q	増減	
<b>資産合計</b>	<b>9,991</b>	<b>10,333</b>	<b>+342</b>	
(現金預金)	1,009	1,329	+320	主にMODECにおいて、建中融資を回収
(売上債権)	2,258	2,634	+376	主にMODECにおいて、FPSOの建造に伴い進行基準売掛金が増加
(有形・無形固定資産)	3,715	3,718	+3	
<b>負債合計</b>	<b>7,189</b>	<b>8,398</b>	<b>+1,209</b>	
(前受金)	926	912	▲14	
(受注工事損失引当金)	610	1,097	+487	主に石炭火力発電所土木建築工事の採算悪化に伴う増加
(有利子負債)	2,046	2,466	+420	
<b>純資産合計</b>	<b>2,802</b>	<b>1,935</b>	<b>▲867</b>	
(自己資本)	1,595	795	▲800	石炭火力発電所土木建築工事の採算悪化に伴い大幅に悪化

自己資本比率	16.0%	7.7%		
D/Eレシオ	1.3倍	3.1倍		

## 新造船受注内訳 (三井E&S造船)

(隻)

	受注 (2019年度 3Q累計)	引渡 (2019年度 3Q累計)	受注残
一般商船	0	8	13
艦船・官公庁船	0	0	9
合計	0	8	22

## 船用ディーゼル機関 (三井E&Sマシナリー)

	2018年度 3Q累計		2019年度 3Q累計		2019年度予想	
	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)
受注	60	110	93	173	—	—
売上	121	311	166	321	—	—
受注残	72	151	61	114	—	—
生産実績	118	297	156	299	208	398



# MITSUMI E&S

社会に人に信頼されるものづくり企業であり続けます

To continue working as a company trusted by society and individual through products and services we offer

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性がございます。